

ペテロ
第二
③

権威への従順 主にある自由

ペテロの手紙第二 2章

偽りと放縦の偽教師

アウトライン

0. イントロダクション

I. 偽教師 2:1～3

II. 歴代の神の裁き 2:4～9

III. 偽教師の特徴 2:10～22

IV. まとめと適用

権威への従順 主にある自由



トルコ アララテ山

ペテロの手紙第二とは？

- 著者 …使徒ペテロ
ユダヤ人の使徒(柄2:8)
- 宛先 …小アジア(トルコ)の
離散(ディアスポラ)の
メシアニック・ジュー
- 執筆時期・場所
…バビロン(15:13)
古来の離散の地
- おもな目的 …信者を奮い立たせる



ペテロが体験した罪と悪

- イスラエル指導者のメシア拒絶
- 仲間のユダによる、メシアへの裏切り
- 自分自身のメシアの否認
- ユダヤ人による教会への迫害
- アナニアとサッピラの破壊的な偽善
- 魔術師シモンとの対決





I. 偽教師 ペテロの手紙第二 2:1～3

ヘルモン山

警告

偽教師 II ペテロ2:1

しかし、御民の中には**偽預言者**も出ました。同じように、あなたがたの中にも**偽教師**が現れます。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込むようになります。自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。

■ イスラエルには、**偽預言者**

教会には、**偽教師**

➡ 贖いの主イエスすら否定

イエスの神性の否定は、異端に共通



罪の贖いは、
神であり
人である
メシアだけに可能

警告 偽教師の特徴 ペテロ2:2～3

また、多くの者が彼らの**放縦***に倣い、彼らのせいで真理の道が悪く言われることになります。

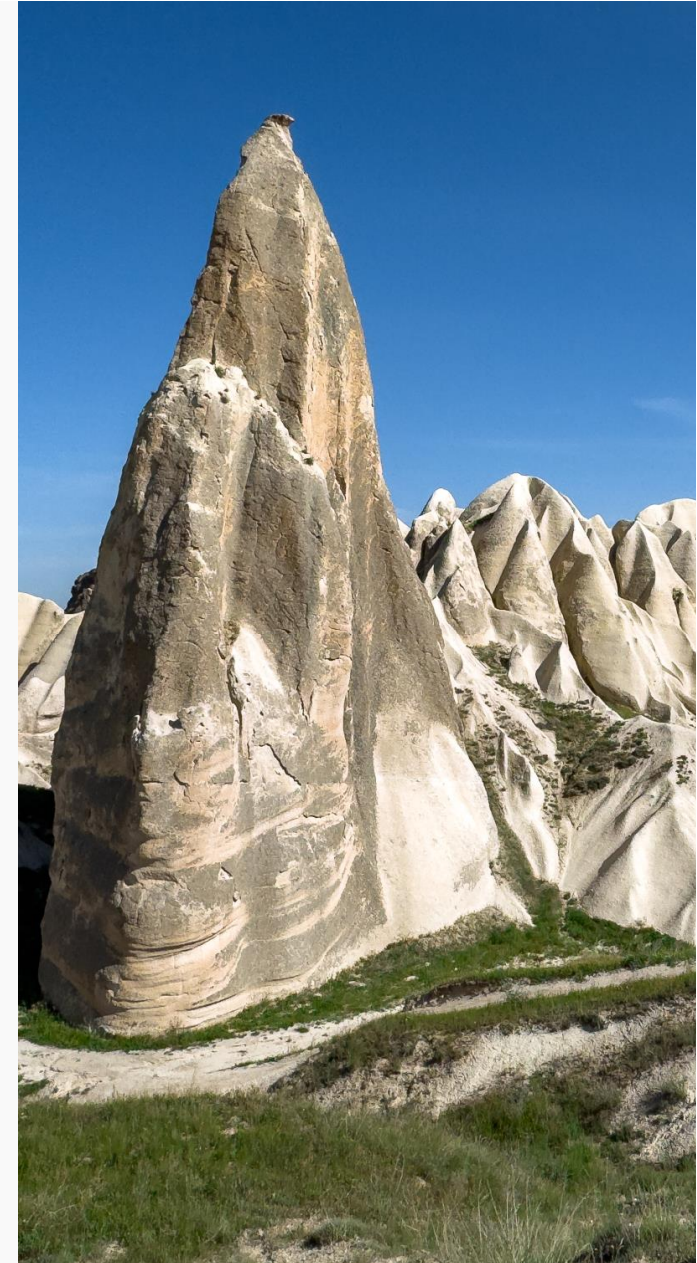
彼らは貪欲で、うまくこしらえた話であなたがたを食い物にします。彼らに対するさばきは昔から怠りなく行われていて、彼らの滅びが遅くなることはありません。

***アセルゲイア …好色、破壊的、不道徳**

■欲望に訴え、人々を誘惑し、真理を貶める。

巧みな真理をねじ曲げ、信仰者を食い物に。

➡神は、時を逃さず、必ず裁きを下される



Ⅱ．歴代の神の裁き

ペテロの手紙第二 2:4～9

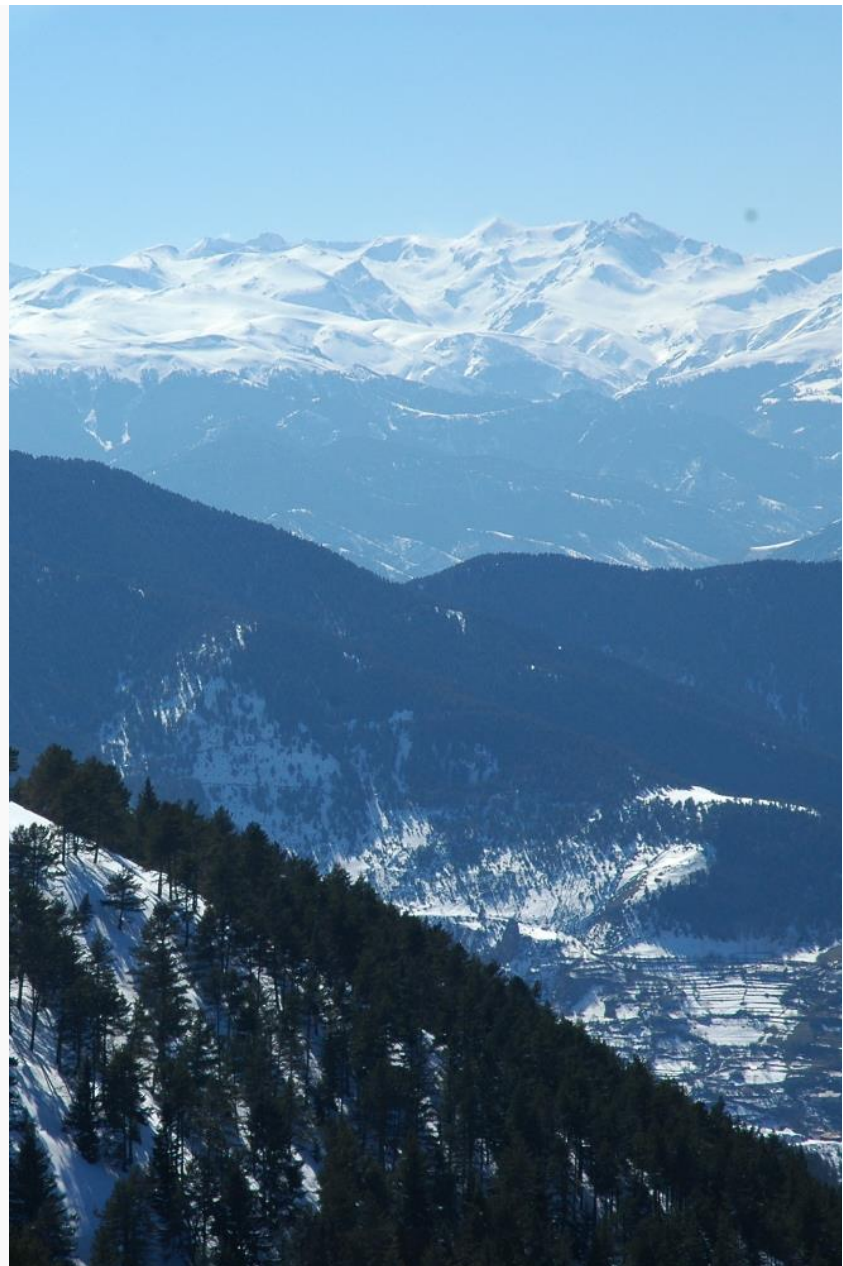


警告 墮天使への裁き II ペテロ2:4

神は、罪を犯した御使いたち*を放置せず、地獄に投げ入れ、暗闇の縄目につないで、さばきの日まで閉じ込められました。

＊人間の女と交わった悪霊たち(創6章)

➡ 白い御座の裁きまで、よみの深淵部に閉じ込められている。

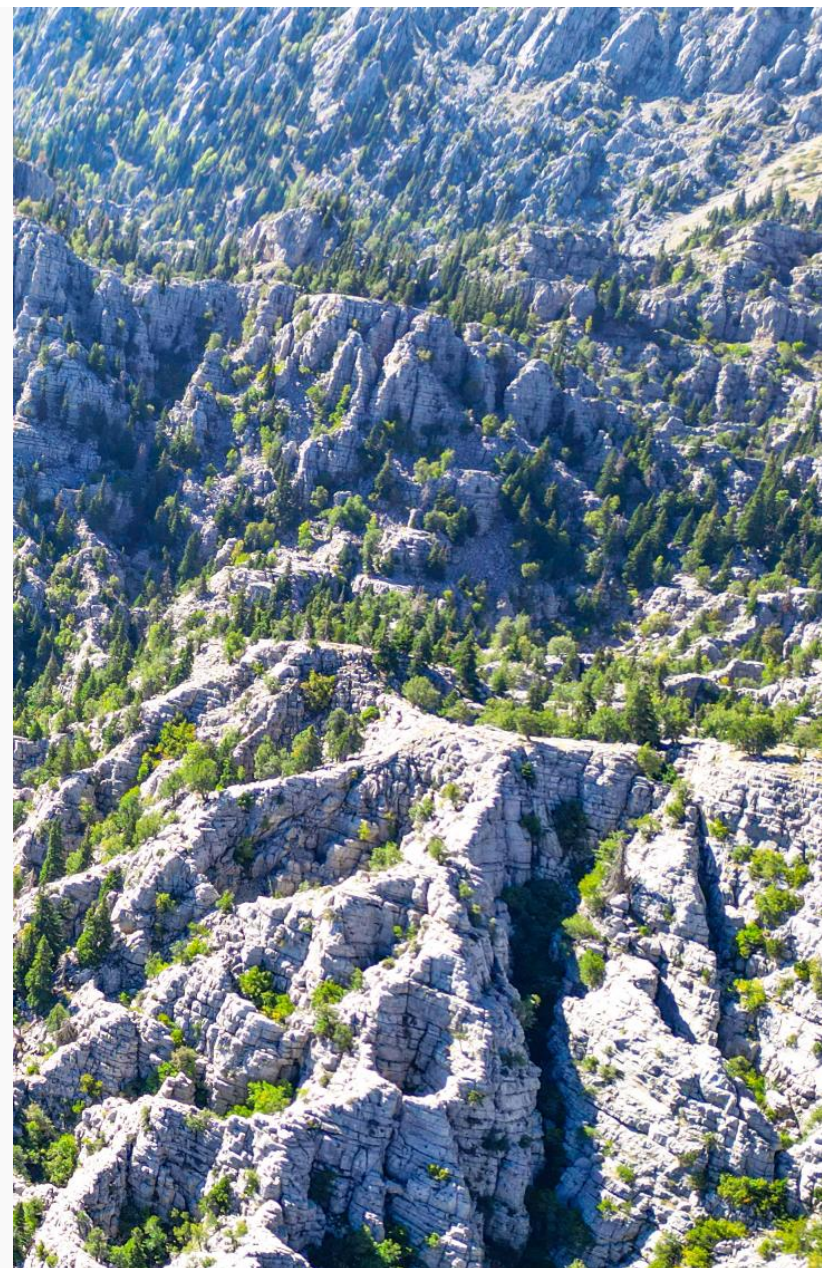


警告 大洪水の裁き II ペテロ2:5

また、かつての世界を放置せず、**不敬虔な者たちの世界***に洪水をもたらし、義を宣べ伝えたノアたち八人を保護されました。

■ 大洪水による**全世界***への裁き

➡ 主に従ったノアと家族8人だけが、箱船にのって救われた。

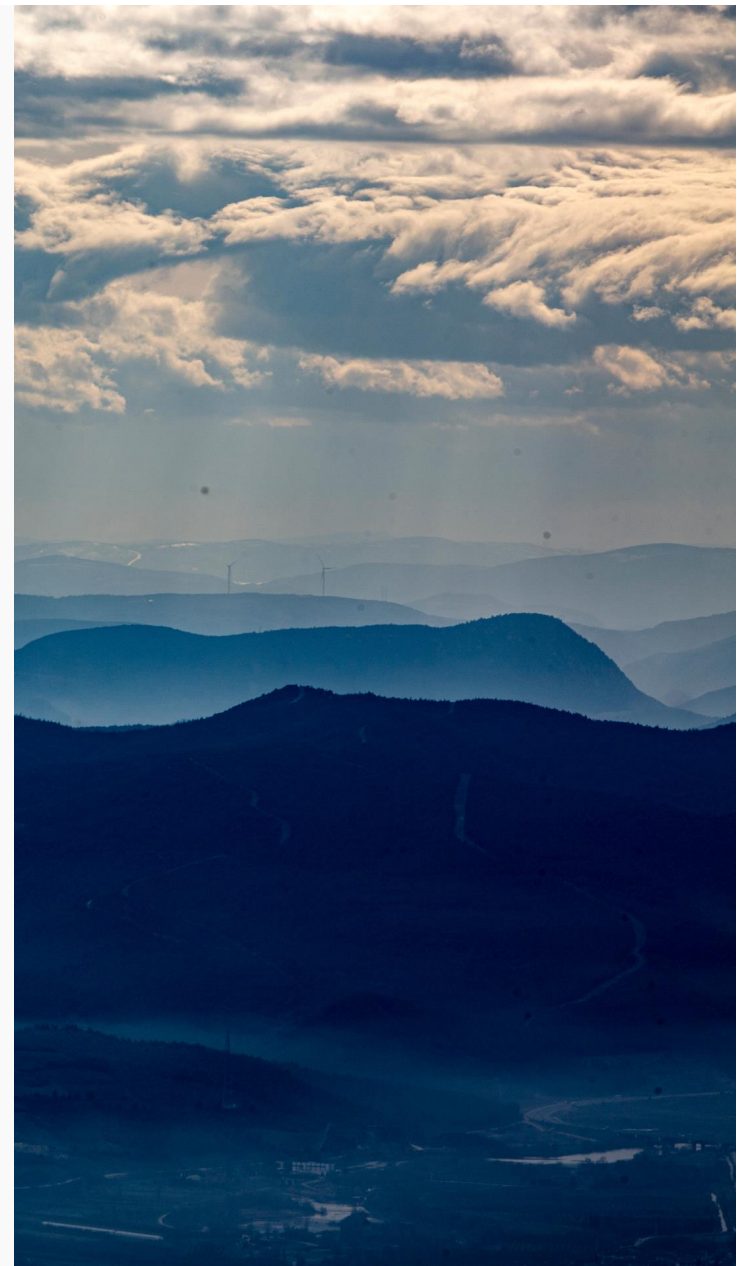


警告

ソドムとゴモラ II ペテロ2:6

また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、不敬虔な者たちに起こることの事例とされました。

- 罪の末、最終警告に来た御使いすら、犯そうとして、火と硫黄の裁きを受けた。
 - ➡ ソドムとゴモラは、終末の裁きの先例



警告

正しい人口ト II ペテロ2:7～8

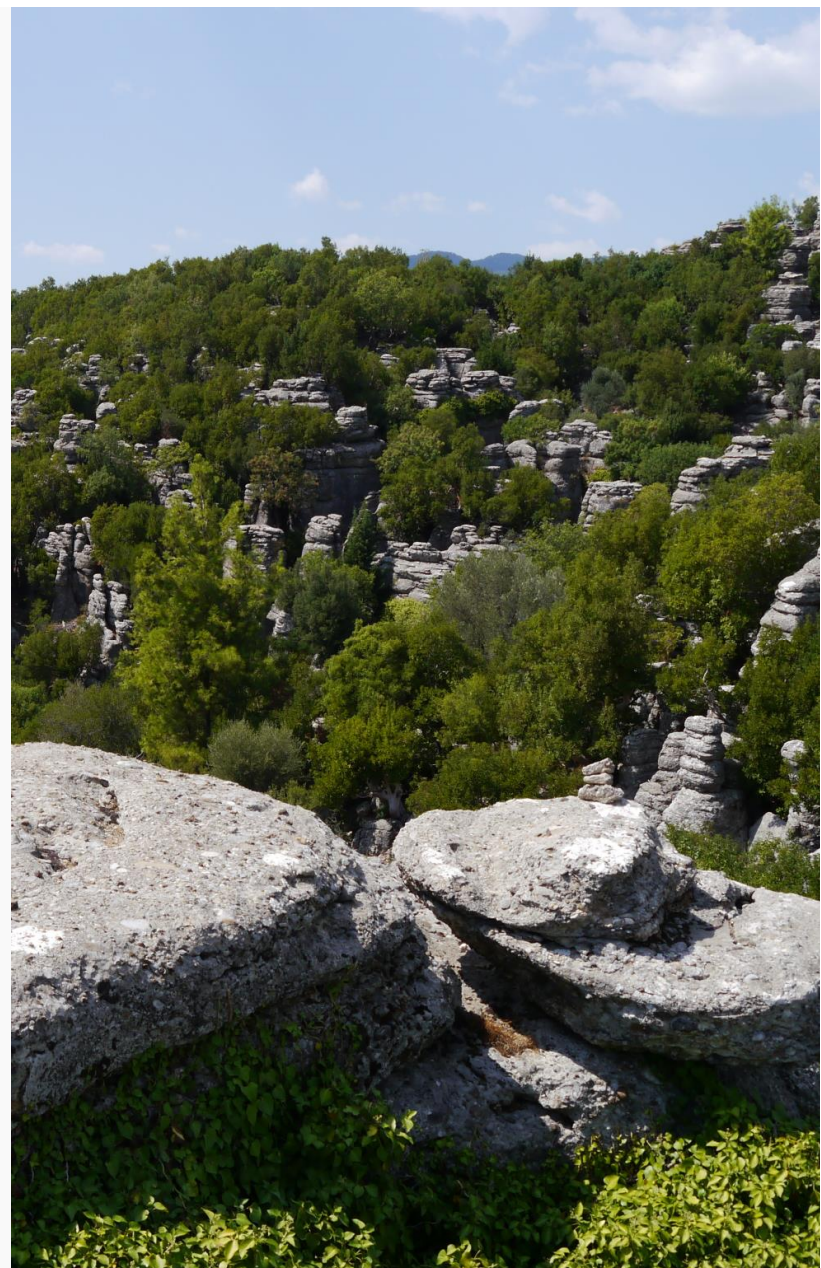
そして、不道德な者たちの放縦なふるまいによって悩まされていた正しい人、口トを救い出されました。

この正しい人は彼らの間に住んでいましたが、不法な行いを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたのです。

■ 明かされる口トの真実。神の評価。

- ・ ソドムの罪に悩み、心痛めていた
- ・ 御使いの身を案じて警告

➡ 口トは、主に従う正しい人



警告

義なる神の公正さ II ペテロ2:9

主はこのようにされたのですから、**敬虔な者たち***を誘惑から救い出し、**正しくない者たち***を処罰し、さばきの日まで閉じ込めておくことを、心得ておられるのです。

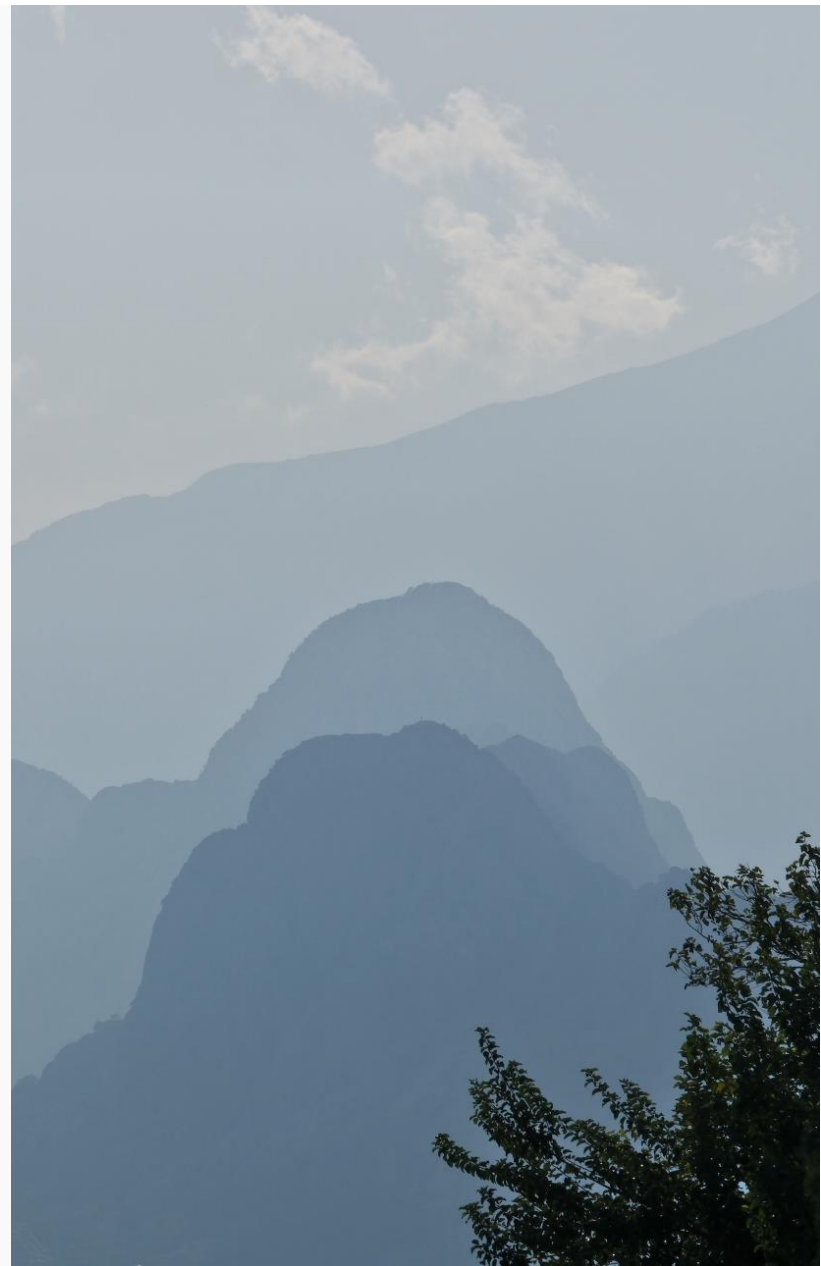
■ 主の裁きに、例外はない、漏れもない。

公正で真実。逃れうる者はいない。

信じた者*には、神の国で永遠の命。

拒んだ者*は、よみで永遠の滅びを待つ。

➡ 裁きの完遂が、白い御座の裁き





Ⅲ. 偽教師の特徴

ペテロの手紙第二 2:10～22

警告 ①権威への反抗 II ペテロ2:10~11

特に、汚れた欲望のまま肉に従って歩み、
権威を侮る者たちに対して、主はそうされます。
この者たちは厚かましく、わがままで、
栄光ある人たちをののしって恐れません。

御使いたちは勢いも力も彼らにまさっているのに、
主の御前で彼らをそしって訴えたり
しません。

偽教師の特徴① 反権威・傲慢

■ 御使いは、偽教師よりも力があるが、
裁きは主に委ねる。➡信仰者のあるべき姿



警告 ②無知で愚か II ペテロ2:12

この者たちは、本能に支配されていて、捕らえられ殺されるために生まれてきた、理性のない動物のようです。自分が知りもしないことを悪く言い、動物が滅びるように滅ぼされることになります。

偽教師の特徴② 無知で愚か



警告 ③空虚 II ペテロ2:13

彼らは不義の報酬として損害を受けるのです。彼らは昼間から飲み騒ぐことを楽しみとしています。彼らはしみや傷であり、あなたがたと一緒に宴席に連なるとき、自分たちのだましごとにふけるのです。

偽教師の特徴③ 空虚・中身は空っぽ

- 愛餐すら、ただの騒ぎに変えてしまう。
- 信仰すら、他者を出し抜く手段。



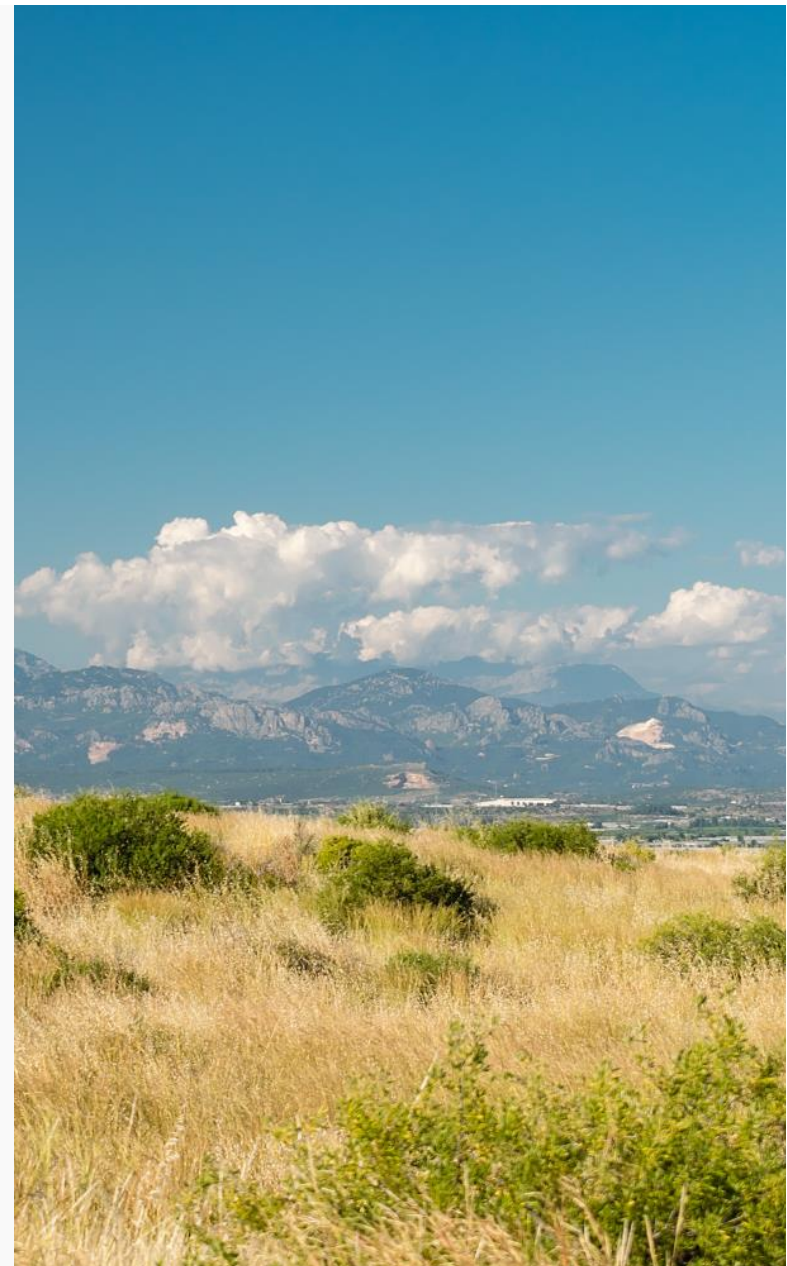
警告 ④罪の誘惑者 II ペテロ2:14

その目は姦淫に満ち、罪に飽くことがなく、心が定まらない人たちを誘惑し、心は貪欲で鍛えられています。彼らは**のろいの子***です。

偽教師の特徴④ 罪に誘惑

■ 人を誘惑し、破滅させることが存在意義。

➡ **悪魔の化身***と化している



警告 ⑤破滅への道 II ペテロ2:15～16

彼らは正しい道を捨てて、さまよっています。ベオルの子バラムの道に従ったのです。バラムは不義の報酬を愛しましたが、自分の不法な行いをとがめられました。口のきけないろばが人間の声で話して、この預言者の正気を失ったふるまいをやめさせたのです。

■ イスラエルを呪うために雇われたバラク。
神の介入を受けたに関わらず、滅びに!!

偽教師の特徴⑤ 破滅に誘う

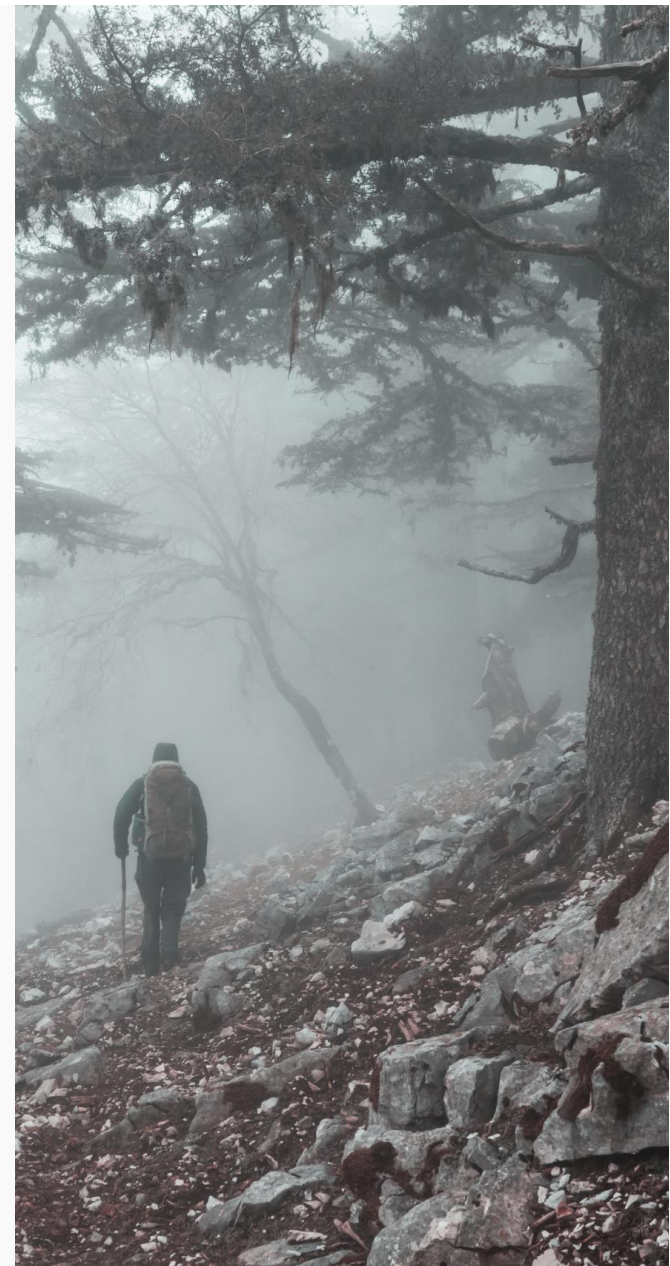


警告

⑥空虚 II ペテロ2:17～18

この者たちは水がない泉、突風で吹き払われる霧です。彼らには深い闇が用意されています。彼らは、むなしいことを大げさに語り、迷いの中に生きている人々の間から現に逃げ出しつつある人たちを、肉欲と好色によって誘惑しています。

偽教師の特徴⑥ 虚無



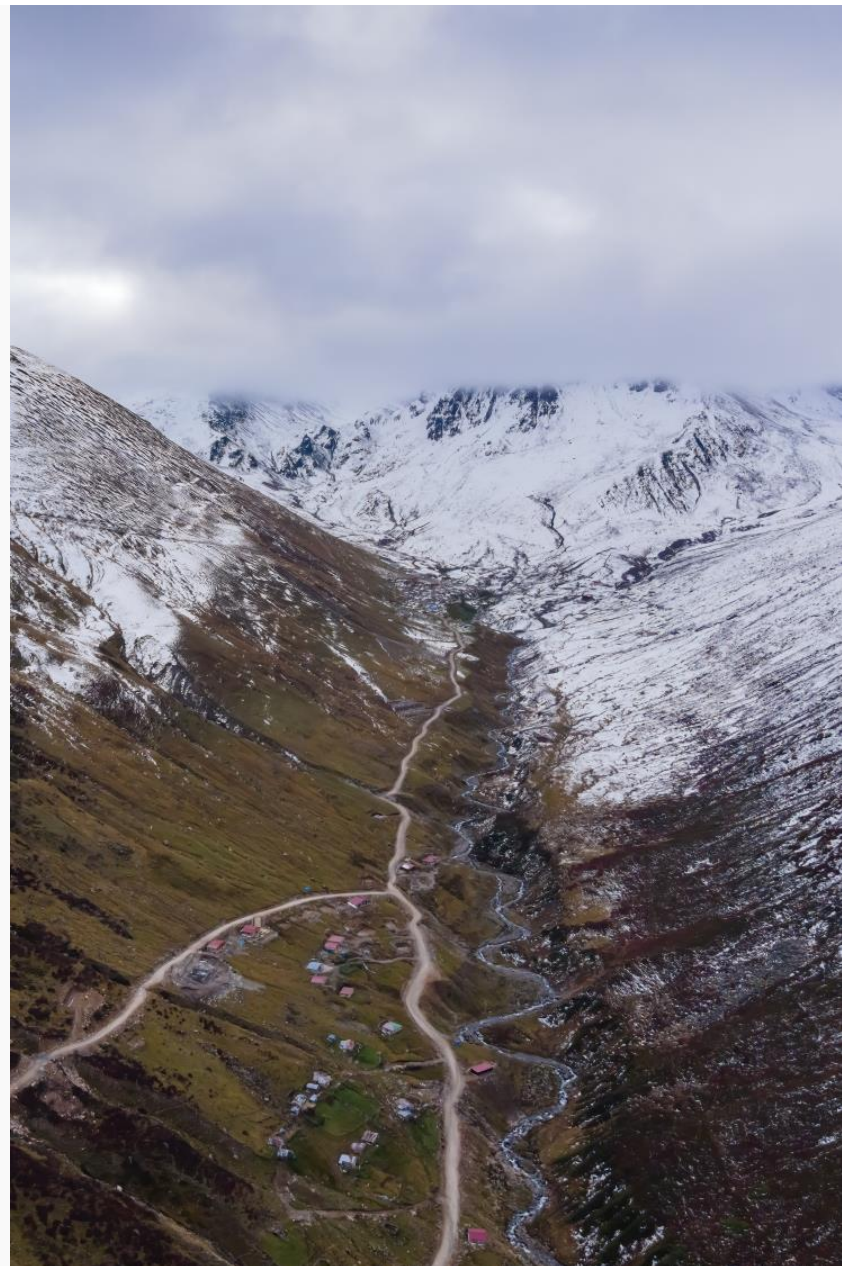
警告

滅びの奴隷 II ペテロ2:19

その人たちに自由を約束しながら、自分自身は滅びの奴隷となっています。人は自分を打ち負かした人の奴隷となるのです。

■ 偽教師の約束する自由は、
神の法秩序からの自由。

➡ 永遠の滅びにいたる悪魔の奴隷

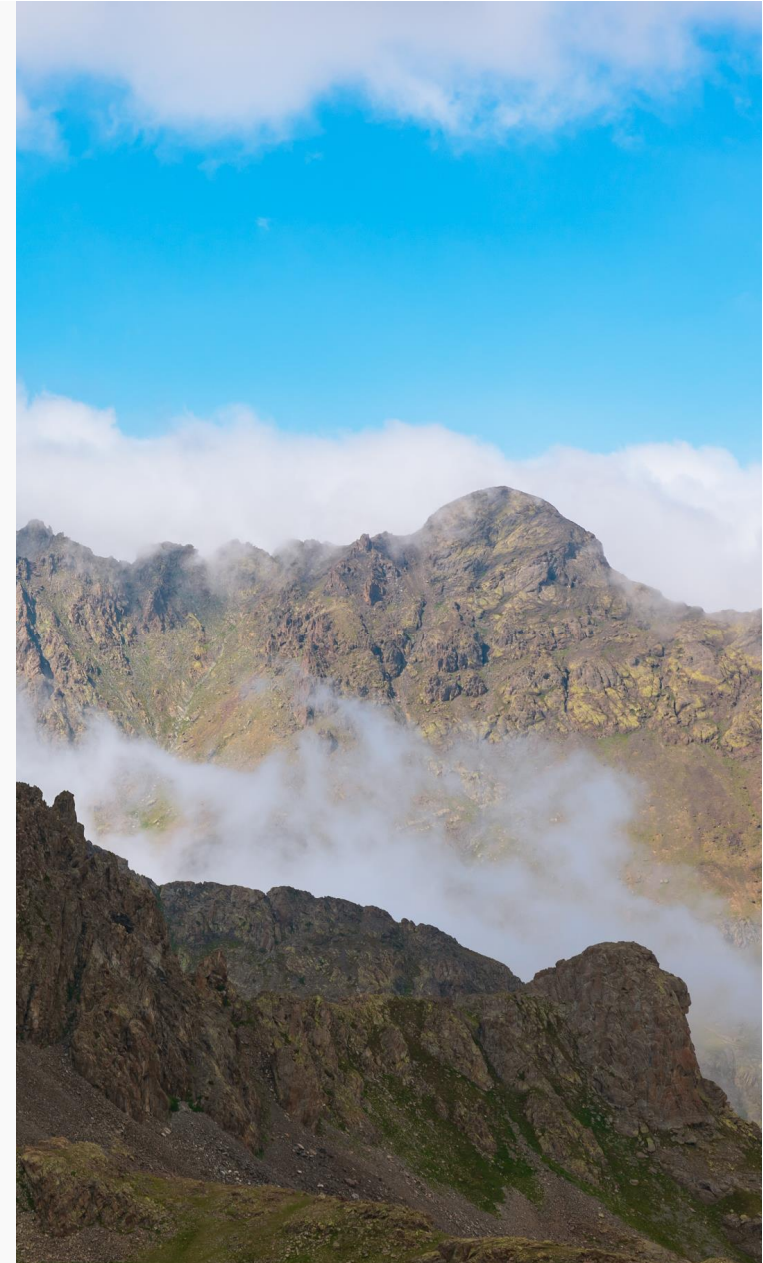


警告

偽教師の末路 II ペテロ2:20

主であり、救い主であるイエス・キリストを知ることによって世の汚れから逃れたのに、再びそれに巻き込まれて打ち負かされるなら、そのような人たちの終わりの状態は、初めの状態よりももっと悪くなります。

- 偽教師、偽善者の罪が破滅的なのは、よく知っていながら主を拒んだから。
 - ➡ 聖書知識を得るほど、責任は重くなる
学ぶ者の責任がある



警告

新生なき者 II ペテロ2:21～22

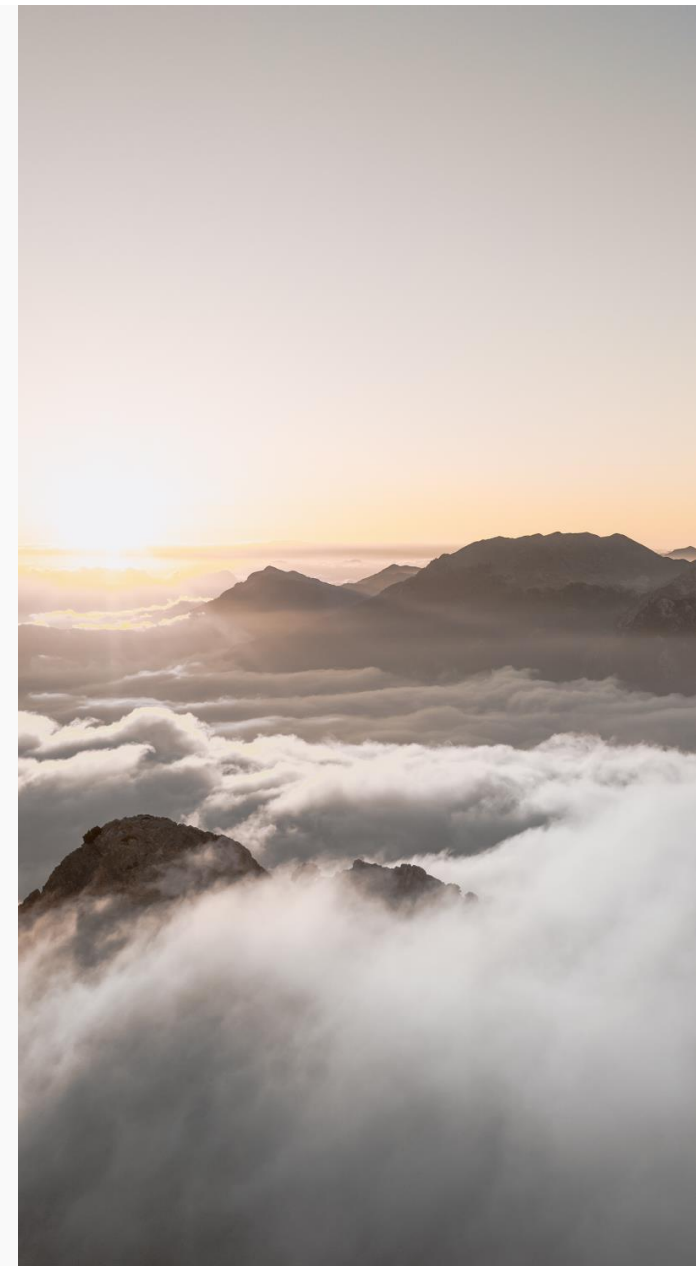
義の道を知っていながら、自分たちに伝えられた聖なる戒めから再び離れるよりは、義の道を知らなかったほうがよかったのです。

「犬は自分が吐いた物に戻る」、「豚は身を洗って、また泥の中を転がる」という、ことわざどおりのことが、彼らに起こっているのです。

■ 最悪の罪は、偽善。

最たる悪人は、裏切り者ユダ。

聖書を学ぶ者の責任を心に刻もう





IV. まとめと適用

権威への従順 主にある自由

偽教師の特徴

■ メシアの神性を否定。放縦。欲望のままに信者を支配。

① 反権威・傲慢

入口はココ

② 無知で愚か

③ 空虚・中身は空っぽ

④ 罪に誘う

⑤ 破滅に誘う

⑥ 虚無に至る

ひたすら権威に反抗するが、
中身はない。
永遠の滅びにいたるだけ

滅びの入り口に要注意!!

- 滅びの入り口は、権威への反抗。倒錯した自由の強調。
- サタンの誘惑 → 神の権威の否定。神の約束からの自由
「食べても死なない。神のようになれる」
- 大洪水を招いた悪霊との交わり。バベルの塔による自らの神格化、ソドムの性的罪は、倒錯した自由の現れ。

神の権威の否定、神からの自由は、滅びへの入り口

聖書が記す、本当の自由とは？

「あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です。あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。ヨハネ福音書8:31～32」

■主イエスの御言葉に従う弟子となって、はじめて、真理を知り、真理と一体となって、真の自由を得る。

キリスト者の自由は、神の真理への従属が大前提。

主イエスが教える、平安の道

■ マタイ福音書11:28～30

すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたも**わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい**。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。

主イエスのくびきを負うことで、真の平安を得る

マタイ11:28～30の背景から

「おまえたちに言う。さばきの日には、ソドムの地のほうが、おまえよりもさばきに耐えやすいのだ。マタイ11:24」

■ 呼びかけの前提は、イスラエルがメシアを拒んだこと。
拒絶したガリラヤの町々への裁きを主イエスは嘆かれた。

■ 一方、主は、教えを受け入れた「**幼子たち***」を喜ばれた。

＊正規の律法教育も受けていない弟子たち。

救いは、恵み

「そうです、父よ、これはみこころにかなったことでした。
すべてのことが、わたしの父からわたしに渡されています。
父のほかに子を知っている者はなく、子と、子が父を現そうと
心に定めた者のほかに、父を知っている者はだれもいません。
マタイ11:26～27」

- 主を知る(=救い)は、主の一方的な恵みのわざ。
私たちに資格はない。
与えられるがままに、受け取り、従うだけ。

主を恐れ、主の権威に従い、委ね、真実の自由を得よう

気軽さの中にある罠に気をつけよう!!

■ ネット上で、いくらでも気軽に御言葉を学べる時代。
その気軽さは、罠にもなる。

➡ 主の権威の否定、倒錯した自由の強調に要注意!!

■ 礼拝中のコメントなど、はたして聖書的にどうなのか？

「女の人教会では黙っていなさい(1コリ14:34)」

➡ 権威への従順の促し。女性に対してだけの命令ではない
自己アピールが前に出てないか？ 主に聞き従うのが第一!!

しゃべっている間は聞いてない。主に聞くな、沈黙せよ!!

★ 守るべきものを守ってこそその自由を味わおう ★

■ 滅びの入り口は、神の権威の否定。倒錯した自由の強調。

■ 招かれているのは、キリストのくびきを負い、主に学ぶ道。

真の自由は、主イエスのみ教えへの従順から始まる。

主に正しく学ぶことで、大切なこと、不要なものも明確に。

■ 沈黙して、主に聞くことから始めよう。

促しを受け取ったら、従い、一步を踏み出そう。

主にささげ、従う、その道は、永遠の御国につながっている。

「^{てん}天の^{とう}お父さま。わたしは、あなたに^{そむ}背き、^{つみ}罪を^{かさ}重ねてきました。
^{ひび}日々^{おか}犯してしまう^{つみ}罪をも^{こくはく}告白します。この^{つみ}罪をゆるしてください。
わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、

①^{つみ}わたしの^{あがな}罪を^{じゅうじか}贖うために^し十字架で死に、

②^{はか}墓に^{ほうむ}葬られ、

③^{みっかめ}三日目に^{ふっかつ}復活したこと、^{しん}を信じます。

^{しゅ}主イエスの^{でし}弟子として、^{わたし}私は、^{しゅ}主の^{みおし}御教えに^き聞き^{したが}従います。

^{みたま}御霊の^{たす}助けの^{うち}内に、^{しんり}真理の^{みことば}御言葉を^{わたし}私の^{こころ}心に^{きざ}刻んでください。

^{ほんとう}本当に^{たいせつ}大切なものと、^{ふよう}不要なものを^{みわ}見分ける^{ちえ}知恵を^{あた}与えてください。

^{しゅ}主イエスの^おくびきを^お負い、^{しんじつ}真実の^{じゆう}自由の^{みち}道を^{あゆ}歩む者としてください。

^{しゅ}主イエス・キリストの^なみ名によって^{いの}祈ります。 アーメン」